

保健活動を考える自主的研究会 会員の皆様

R5年2月北九州研究会に向けた 母子保健実態レポートと 次期子どもノート（試行版）の概算数調査について（依頼）

母子プロジェクトメンバー

いつもお世話になっております。母子プロジェクトから皆さまに北九州研究会及び次期子どもノート作成に向けての調査のお願いです。

令和4年2月の（北九州）母子研究会、6月のKatsukoの部屋母子など、熊谷さんの支援をいただき、止まっていた母子保健が国の動きを見据えたかのように、この1年間目まぐるしく動いています。

母子PTで学習の支援をしていただく中で、最近の子どもノート（2022年版など）がお母さん主体でなく、専門職（保健師栄養士）のためのモノになっている。現代のお母さん向けでなく、余計な資料が多い事や今のお母さん達が本当に必要としている資料になっていない事などがわかってきました。

そこで、①次期子どもノート作成に向けて、全国の仲間の母子保健活動（健診や訪問など）の中で、今時のお母さんと接する中で日頃感じている事、こんな驚きの発言や実態があった、子どもノートで指摘された事（例、字が多い、絵と図だけにして、やり方はYouTubeの方がわかります） などなど、（口内サラダに負けない）熊谷さんもびっくりするような楽しくかつ事実の実態レポートを募集します。数行程度でも大丈夫です。

②次期子どもノート（試行版）について、現在資料を修正や追加・削除して、新しく本当にお母さん達が使えそうなノートを目指して作成中です。おそらく来年度用には完成しませんが、試行版として（カラー予定、印刷製本等については簡易版とし学習会の資料冊子程度、サイズは小型化しページ数は減る予定です）会員と会員の所属する市町村の住民用配布（お母さんなどに公費等配布している）のみ印刷し、頒布（価格については未定・前回と同程度を見込）予定です。今回のくらの部数が必要になるか把握したいので、概算数を教えてください。 なお、現在の2022年版（A4サイズ）の更新と増刷はしない予定です。ニワトコさんの在庫も終了しています。予定では試行版を2023年に会員の皆様にご使用いただき、その状況で2024年に新版の子どもノートとして正式に完成できればと考えています。

お忙しいところ大変恐縮ですが、各県世話人の方は会員の皆様にお知らせし、レポートの取りまとめと次期子どもノートの概算数調査回収のご協力をお願いします。

【提出方法等】

①母子の実態レポート：様式は問いませんが、ワードやエクセルなどのファイル様式の前に

県番号【県名】市町村名 母子実態レポートなど と記載してください。

県世話人の方はワードなどを県1つにまとめずに、1市町村単位毎にまとめて提出してください。

②次期子どもノート（試行版）概算数調査：別添様式に各県の会員必要部数と市町村（公費購入使用）必要部数を記載してください。公費購入使用予定の場合は市町村名の記載は必須でお願いします。

【県世話人さんの提出期限と提出先】

提出期限：8月23日（火） 必着 提出先：kayano@nanjolarbo.com